

水源域を不法投棄物から守ろう

11月19日、県道大曲花巻線沿いの国有林地内に捨てられていた不法投棄廃棄物の撤去作業を行いました。作業は大仙保健所、秋田森林管理署、町の合同によるもので、町の不法投棄監視員もボランティアで参加しました。前日から降り積もった雪で足場が悪い中、波トタンや廃材を手渡して林道まで引き上げ、不燃、可燃に分別してコンテナに積み込みました。1時間ほどで、それまで分からなかった沢が現れると、沢風も心地よく感じられます。

この日は、3時間ほどかけて六郷東根と善知鳥地内で実施し、タイヤ、バイク、テレビ、バッテリーなど44個、総重量2トンを超えるごみを撤去しました。森林管理署では、恒常的に不法投棄が発生している場所について、国有林内の作業道入口に車止めなどの措置をとることにしています。万一、不審車両を見かけた場合は、住民生活課(☎0187(84)4903)に通報願います。



水を守ろう



町の話

美郷町商工会合併5周年記念
商工会員交流の集い

美郷町商工会(近藤道哲会長)が11月19日、合併5周年を記念した「商工会員交流の集い」を六郷のアクアホールで開催し、会員の皆さん約70人が出席しました。

会では、近藤会長が「地販地消等の取組みについて、会員皆さんから支援をいただき、今後もさらに頑張ってもらいたい」とあいさつ。続いて、田澤千寿子女性部長より大会決議が読み上げられました。

また、会員企業に勤める7人の方々が優良従業員として表彰され、受賞者を代表して勤続30年以上表彰を受賞した武藤正昭さん((株)ヤマダフーズ)が「今日の感激を思い起こし、さらに懸命の努力をしていきたい」と謝辞を述べました。

式典終了後は、日本銀行秋田支店長の甲斐文朗さんによる記念講演や親睦交流祝賀会が行われ、商工会のさらなる発展を誓いました。



笑いを通して心身ともに元気に！
男女共同参画出前講座

男女共同参画出前講座が11月19日、仙南公民館で第4回美郷いきいき大学と併せて開催され、町民の方約200人が参加しました。

講座は、第1部、人星亭喜楽駄朗さんによる「アカデミック漫談～笑いは幸せへのかけ橋～」と題した講話、第2部、美郷町男女共同参画住民懇話会委員による「いまが幸せ～高橋家の介護から～」と題した朗読劇の2部構成で行われ、参加した皆さんは、笑いを通しながら、男性も女性もそれぞれの能力を発揮してイキイキと生活できる男女協働参画社会について考え合いました。



▲人星亭喜楽駄朗さん



▲朗読劇を行う委員の皆さん

かつひらとくし
勝平得之の版画を米袋に
(資)照井福治商店

(資)照井福治商店(照井昇代表社員)が、県内の風物を題材に活躍した版画家・勝平得之の作品を米袋にプリントした減農薬・減化学肥料栽培米「美郷町産あきたこまち」の販売を始め、その記念式典が12月1日、道の駅雁の里せんなんで開かれました。

勝平得之の作品は公共性のあるもの以外に使用されることがなく、商品に掲載されるのは今回が初めて。妻の晴さんが六郷出身であり、また照井さんの祖母と姉妹であったことから実現したものです。

袋は両面プリントで、表面に1951年作「米作四題・刈りあげ」、裏面に1950年作「米作四題・田植」がプリントされています。

式典では、照井さんが「勝平得之の名を汚さぬよう、より安全安心な米を提供していきたい」とあいさつ。その後、松田町長が「芸術性あふれる勝平さんの作品は、町のイメージアップにつながる」と期待の言葉を述べました。

なお、このお米は、(資)照井福治商店、道の駅雁の里せんなんのほか、秋田市や首都圏でも販売されます。



▲版画がプリントされた米袋を持つ松田町長と照井昇さん



▲道の駅雁の里せんなんで開かれた発売記念式典

子どもの安全をみんなで守ろう
子ども安全集会

不審者による犯罪被害から子どもたちを守るため、町内で見守り活動を行うボランティアの皆さんの情報交換などを目的とした子ども安全集会が11月25日、千畑交流センターで開かれました。

集会では、はじめに大仙警察署の藤井結佳さんから、子どもの登下校の時間に買い物や散歩などの時間を合わせ、多くの目子どもを見守ってほしいという要望があったほか、県教育長保健体育課健康・安全教育班の高島敏光さんからは、県内の不審者情報や声かけ事案の事例に触れ、更なる活動の徹底が呼びかけられました。

また、町スクールガードリーダーの湊雄治さんが「環境に配慮しながら、子どもたちの安全確保に努めたい」と話しました。

町では、引き続き子どもの安全を守る「子ども見まもり隊」の取り組みにご協力いただける方を募集しています。詳しくは、町教育委員会(☎0187(84)4914)にお問い合わせください。



100歳の誕生日を迎えられました
吉野トシさん(川原保)

吉野トシさん(川原保)が12月7日、満100歳の誕生日を迎えられました。

同日、松田町長が吉野さんの利用しているショートステイ先「ほっと未来」を訪問し、祝い金を贈呈しました。

「早くに夫に先立たれ、女手一つで2人の娘を育てくれました」と長女の豊子さん。普段は気丈な性格というトシさんでしたが、ご家族や利用者の皆さんから祝福の拍手を贈られると、少し涙ぐまれていました。これからもお体に気をつけて長生きしてください。



▲トシさん(写真中央)とご家族の皆さん